

事業名	心身障害児総合援護費	財務コード (事業)	082004
-----	------------	---------------	--------

細事業名	ホームサーバー派遣等事業費補助金
------	------------------

担当部課室	福祉保健 部 障害福祉 課 地域生活支援 担当 (内線)	3208
-------	------------------------------	------

事業の概要

実施期間	始期 s42 年度 ~ 終期 年度		
実施主体	補助(山梨県肢体不自由児協会)		
事業の目的	誰(何)を対象に 20歳未満の在宅心身障害児及び養育している家庭	その対象をどのような状態にして 派遣されたホームサーバーの生活指導等を受けることにより、自立や能力開発が促進される。併せて家庭の介護などの負担が軽減されている。	結果、何に結びつけるのか 心身障害児の福祉の向上
	事業概要: 在宅障害児の育成指導と療育援助のため、障害児のいる家庭にホームサーバーを派遣する。 補助対象事業 ・在宅心身障害児を養育する家庭に、1回2時間以内、1ヶ月に8回以内でホームサーバーを派遣 ・ホームサーバーに対し、活動する上で必要なケースの検討、知識の付与等を行うための研修会や交流会を開催 ホームサーバーの奉仕内容: 身の回りの世話、生活指導、遊び相手、学習指導、保護者の相談相手等 補助対象経費: サーバー派遣費、通信費、研修会費、保険料 補助率: 10/10 補助先: 山梨県肢体不自由児協会 平成24年度派遣対象者30人、登録ホームサーバー46人		
事業の内容 主に 24年度			
根拠法令等	山梨県心身障害児ホームサーバー派遣費事業費補助金交付要綱、山梨県心身障害児ホームサーバー派遣等事業実施要領		

事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

事業の実施状況と目標の実現度	23年度	24年度		25年度	26年度	事業目標の考え方
	実績値	目標値	実績値	見込値	目標値	
活動指標 ホームサーバー年間派遣回数	690	720	1,127	990	1,000	活動指標 目標設定の考え方 過去の派遣状況 データの出典等 派遣実績
	活動指標達成率 (実績値/目標値)		156.5 %			
成果指標 成果指標達成率 (実績値/目標値)			%			成果指標 目標設定の考え方 データの出典等
決算額、予算額 (千円) うち一財額	1,668		1,654	1,654	1,654	成果指標によらない成果 訪問家庭の派遣依頼状況から判断すると、心身障害児をもつ家庭での需要は多く成果がある事業と考えられる。また、家庭での介護の負担も軽減されている。
所要時間(直接分)	2 時間		2 時間	2 時間	2 時間	
所要時間(間接分)	110 時間		108 時間	98 時間	98 時間	
所要時間計	112 時間		110 時間	100 時間	100 時間	
人件費131 単位:千円 (@2,050円×所要時間)	230		226	205	205	

これまでの事業の見直し・改善状況

--

活動量と成果の判断(平成24年度の業績評価)

(1) 事業は予定された活動量を上げているか。(「活動指標の達成率」等から、事業の活動量を判断)

数値判定 H24年度 活動指標 達成率	活動量に係る 一次評価	活動量に係る一次評価の考え方 数値判定と一次評価とが異なる場合等に記入すること
a	a	

a: 予定を超えた活動量がある(120%以上)。 b: 予定どおりの活動量がある(80%以上120%未満)。 c: 予定したほど活動量がない(40%以上80%未満)。 d: 予定した活動量に著しく足りない(40%未満)。

(2) 事業は意図した成果を上げているか。(「成果指標の達成率」、「成果指標によらない成果」から事業の成果を判断)

数値判定 H24年度 成果指標 達成率	成果に係る 一次評価	成果に係る一次評価の考え方 必ず記入すること
	a	前年度の訪問家庭への派遣回数に400回以上上回り、派遣依頼状況から判断するとリピート率も高く利用者にとって有効な事業と考えられ、また、利用者からも「一時の休息になる。」などの声が寄せられるなど、家庭の介護の負担が軽減されていることから、意図した成果を十分に上げている。

a: 意図した成果を十分に上げている(120%以上)。 b: 意図した成果はほぼ上げている(80%以上120%未満)。 c: 意図した成果は十分ではないが、対象や方法の改善により成果の向上が見込める(40%以上80%未満)。 d: 意図した成果が十分でなく、成果を上げる方法も見あたらない(40%未満)。

見直しの必要性(平成26年度に向けた改善等の考え方)

一次評価(担当部評価結果)		
見直しの必要性	説明	以外の判断項目
有	サーバー間において知識や技術を共有するためのホームサーバー研修会について、開催場所や開催時間を工夫し、学生サーバーが参加しやすくなる環境を整えるとともに問題事例の共有化など研修内容の検討を行い、会議の効率化を図る。 また、ホームサーバーの派遣数を含め事業内容についても検討を行う。	k

・「以外の判断項目」の欄
必要性(a.目的の達成 b.新たな課題への対応 c.対象の変化 d.ニーズの変化 e.法律・制度の改正) 官or民(f.民間等実施) 官の役割分担
(g.市町村等へ移管) 効率性(h.外部委託 i.経費節減 j.類似事業と統合・連携 k.所要時間の縮減 l.プロセスの改善) m.その他

二次評価(担当部局再評価結果) 行政評価アドバイザー会議(外部評価)での指摘事項を踏まえた担当部局による再評価

見直しの必要性	説明	以外の判断項目

・「以外の判断項目」の欄は、上記と同様とする。

見直しの方向(平成26年度当初予算等での対応状況)

見直しの方向	具体的な実施計画等
実施方法等の変更	ホームサーバー研修会について、開催場所や開催時間を工夫するなどサーバーが参加しやすくなる環境を整えるとともに問題事例の共有化など研修内容の見直しを行う。

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。なお、見直しがない場合は、「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。